

(3) Fタームとは

① Fターム

Fタームとは、文献量の著しい増大に対応し、特許審査のための先行技術調査を迅速に行うことを目的として、日本国特許庁が開発した我が国独自の機械検索用の技術分類です。

国際特許分類（IPC）が単一の観点（下例では「構造」の観点）で特許情報を分類しているのに対して、Fタームは複数の観点（下例では「用途」と「製法」の観点）で分類しているため、Fタームを用いることにより、IPCやFIよりも機械検索で特許文献を絞り込むことが可能となります。Fタームは、テーマコード（5桁）＋観点（2桁のアルファベット）＋（数字2桁）で構成されますが、通常テーマコードは別途表示されますので、一般的には、観点（2桁のアルファベット）＋（数字2桁）を「Fターム」とよんでいます。

（参考例） Fターム例「参考例のタームリスト（Fターム表）参照」

2C002（テーマコード：ゴルフクラブ）

AA00 クラブの構成、・・・、AA02 ウッド、・・・

CH00 ヘッドの形状、構造、・・・、CH05 内部構造、・・・

CS00 シャフトの形状、構造、・・・

MM00 材質、・・・、MM03 発泡性樹脂、・・・

② Fタームテーマ、FIテーマについて

全技術分野は、国際特許分類（IPC）を基に約2800（テーマ）に区分けされ、それらのテーマは、FIの分類のみで検索が十分行えるテーマ（FIテーマ：約3割）と、FIのみでは細展開が不十分等のためFタームが作成されているテーマ（Fタームテーマ：約7割）とに分けることができます。

（参考例） Fタームテーマコード 2B001（Fタームテーマ）

2B002（Fタームテーマ）

2B003（FIテーマ）

・・・

（参考例） IPC、Fタームでの絞り込み例



(4) 分類の項目数

各分類の項目数は下記の通りであり、日本の細展開の分類項目数が比較的多いのですが、その理由は、次のように考えられます。

① 検索対象としている文献数が多いため

② 機械検索が世界で最も進んでいるため